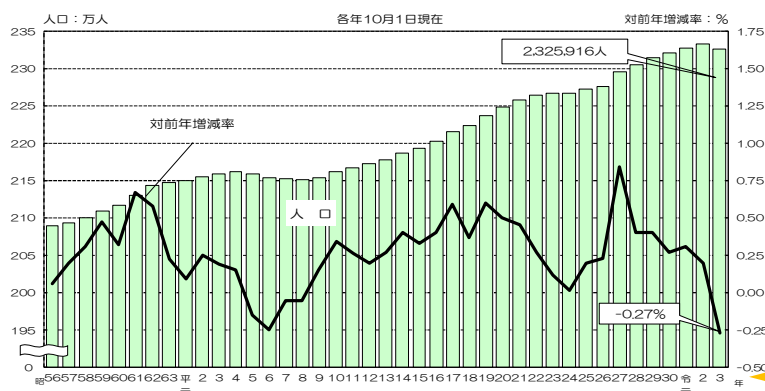


コロナ禍における名古屋市の人口動態と 今後の課題及び取組について

令和4年8月
名古屋市総務局企画課

1 人口概況

○ 総人口及び人口の対前年増減率の推移



- コロナ発生後の令和2年は人口増加が鈍化
- 平成9年以降令和2年まで24年連続で増加していたが、令和3年は25年ぶりに減少

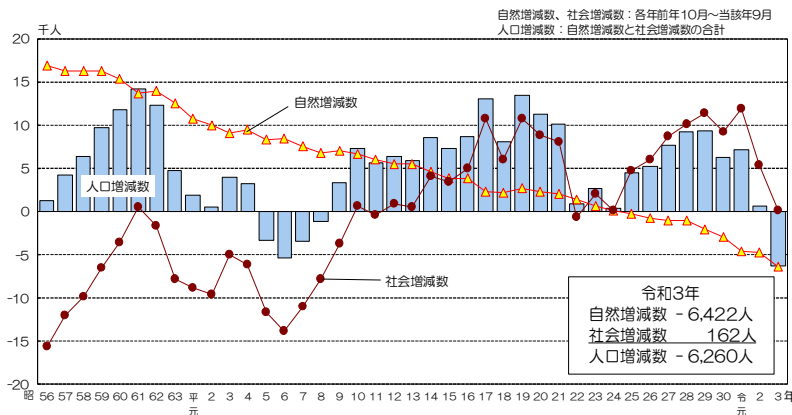
令和2年1月
日本で初の感染確認

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総人口	2,295,638	2,304,794	2,314,125	2,320,361	2,327,557	2,332,176	2,325,916
男性	1,133,640	1,138,412	1,142,968	1,145,763	1,149,614	1,146,669	1,142,651
女性	1,161,998	1,166,382	1,171,157	1,174,598	1,177,943	1,185,507	1,183,265

出典：統計なごやweb版愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）

1 人口概況

○ 自然増減数、社会増減数及び人口増減数の推移



- 自然動態：
令和3年は過去最大のマイナス
- 社会動態：
令和2年以降、社会増が大きく縮小

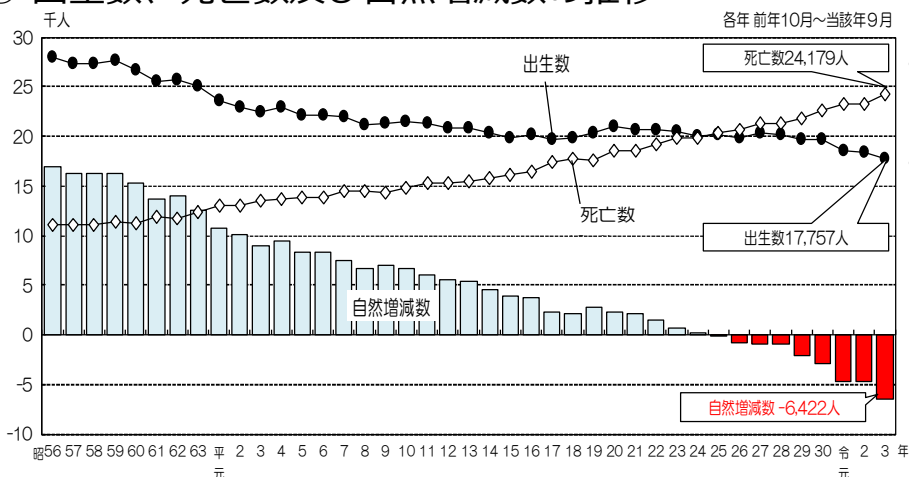
名古屋市の人口増減数は
25年ぶりにマイナス

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
自然増減数	-1,016	-994	-2,052	-2,980	-4,633	-4,756	-6,422
社会増減数	8,710	10,150	11,383	9,216	11,829	5,337	162
人口増減数	7,694	9,156	9,331	6,236	7,196	581	-6,260

出典：統計なごやweb版愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）

2 自然動態

○ 出生数、死亡数及び自然増減数の推移



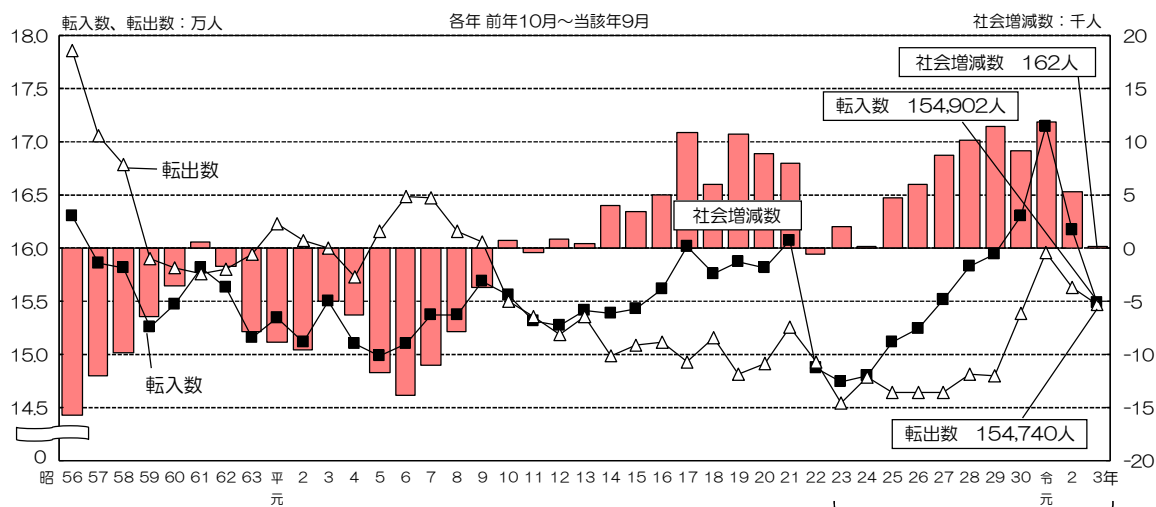
- 平成25年以降9年連続の自然減
- 令和3年は、出生数が最も少なく死亡数が最も多くなったことにより、過去最大の自然減

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出生数	20,288	20,255	19,716	19,695	18,605	18,459	17,757
死亡数	21,304	21,249	21,768	22,675	23,238	23,215	24,179
自然増減数	-1,016	-994	-2,052	-2,980	-4,633	-4,756	-6,422

出典：統計なごやweb版愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）

3 社会動態

○転入数、転出数及び社会増減数の推移



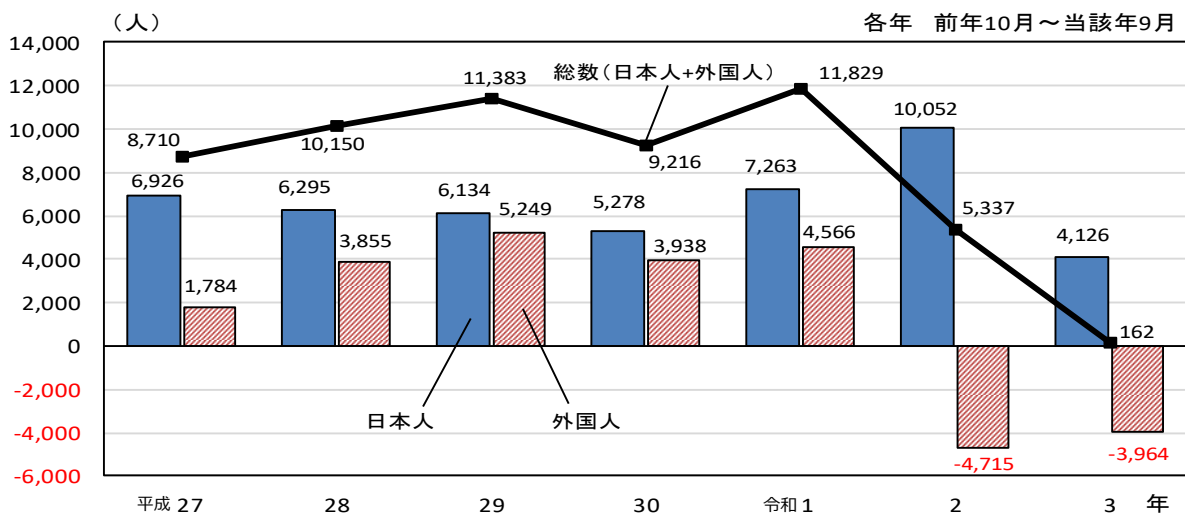
- ・平成23年以降、11年連続の社会増
- ・令和2年以降、**社会増は大きく縮小**

11年連続の社会増

出典：統計なごやweb版愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）

3 社会動態

○日本人・外国人別社会増減数の推移

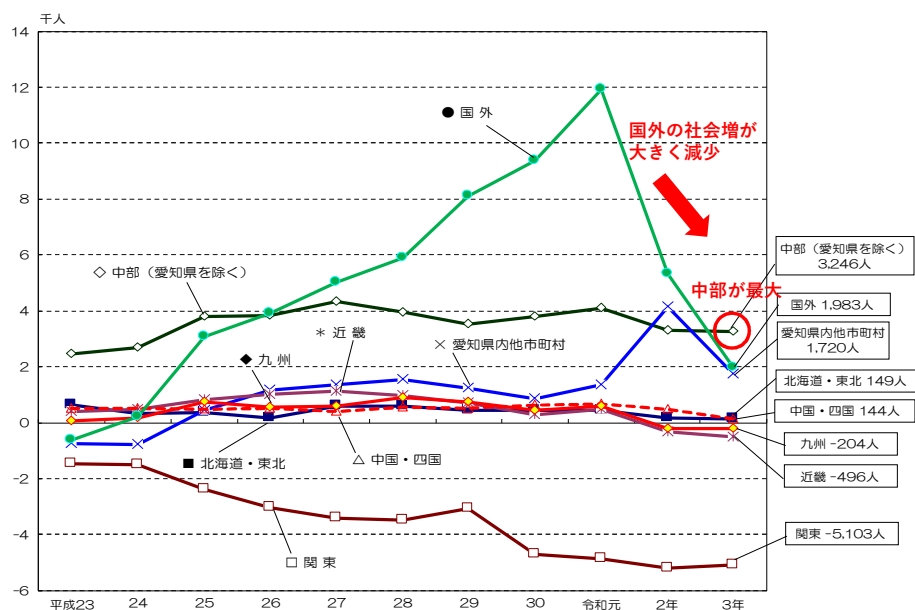


- ・令和2年以降、外国人が社会増から社会減に転じ、令和3年には日本人の社会増が縮小

出典：統計なごやweb版愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）

3-1 社会動態（地域別）

○ 地域別本市から見た社会増減数の推移



- 社会増が最も大きい地域は平成26年から7年連続で**国外**だったが、**令和2年、3年は国外の社会増が大きく減少**
- 令和3年は中部（愛知県を除く）の社会増が最大

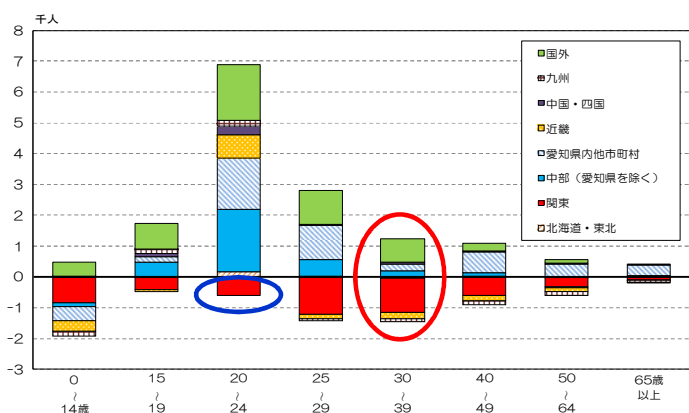
出典：統計なごやweb版愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）

3-2 社会動態（年齢別・地域別）

○ 年齢階級別地域別社会増減数（令和2年及び令和3年）

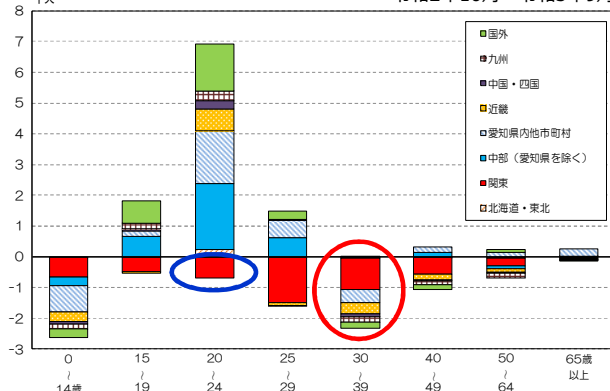
令和2年

令和元年10月～令和2年9月



令和3年

令和2年10月～令和3年9月

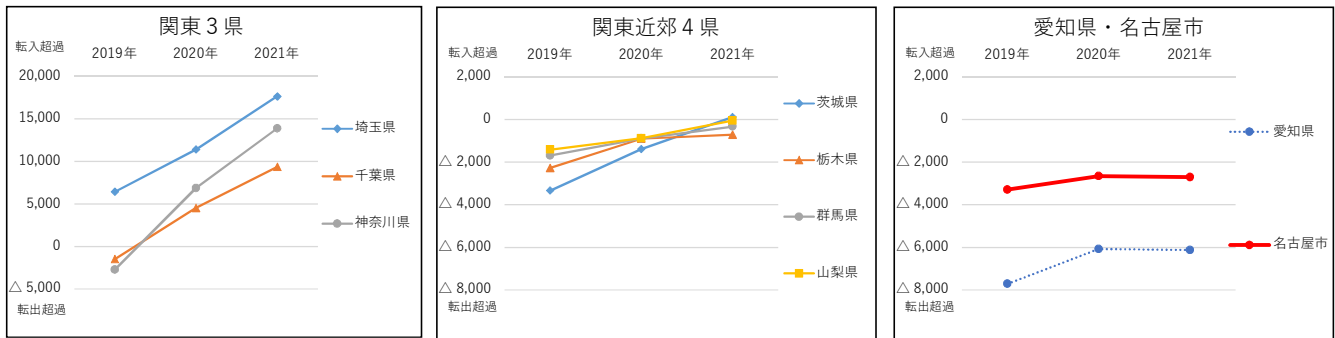


出典：統計なごやweb版愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）

- 「30～39歳」の社会減が最も拡大**
- 令和2年、3年ともに、**「20～24歳」の社会増が最も大きい**が、**関東に対しては社会減**

3-3 社会動態（関東圏）

○ 2019(令和元)年から2021(令和3)年までの東京都に対する社会増減数の推移

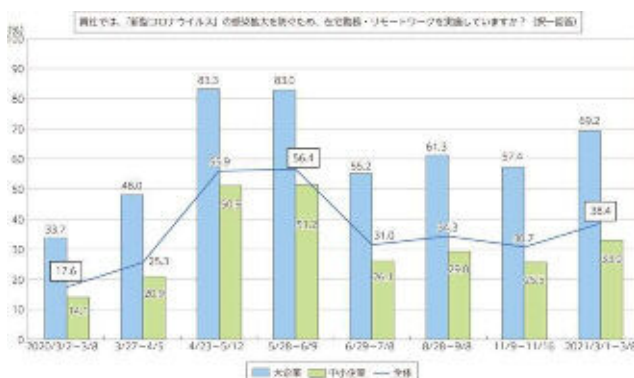


出典：2021(令和3)年住民基本台帳人口移動報告（総務省）より名古屋市作成

- ・ 関東3県は特に東京都からの転入超過が拡大（転出超過が縮小）し続けている。
- ・ 関東近郊4県も関東3県と比較して低調ではあるものの、転出超過が縮小し続けている。
- ・ 本市や愛知県では2020(令和2)年は関東圏同様に転出超過が縮小したが、2021(令和3)年にかけては横ばいとなっている。
- ・ **テレワークや在宅勤務の普及が進み、東京から近隣県に人が出ていく流れが強まったと推測される。**

【参考】テレワークの実施状況（全国）

企業のテレワーク実施率



従業員のテレワーク実施率（4か月推移、正社員ベース）

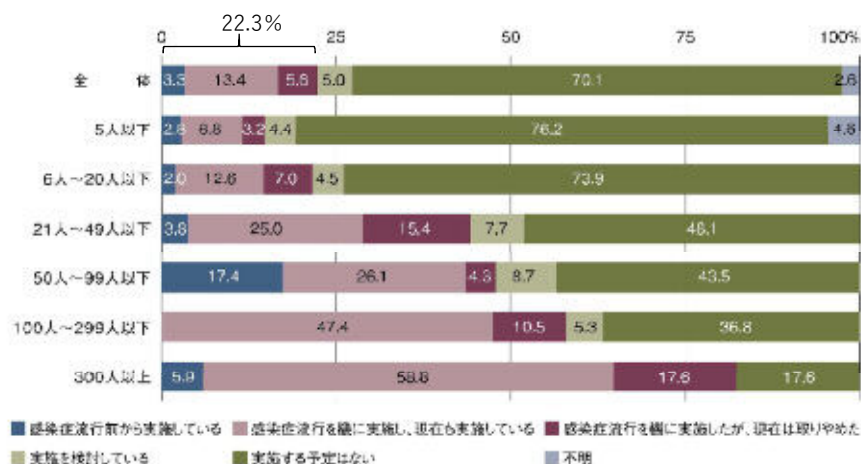


出典：令和3年情報通信白書（総務省）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、民間企業におけるテレワークの導入が急速に進んでおり、大企業ほど実施率が高い。
- ・ 実施率の推移から、テレワークは一定程度定着傾向にあると伺える。

【参考】テレワークの普及について（名古屋市・中小企業）

在宅勤務・テレワークの実施について（全体、従業員別）



出典：名古屋市次期産業振興計画策定に関するアンケート調査

- ・ 全体では「実施する予定はない」とする回答が最も多い
- ・ 新型コロナウイルス感染症流行時には実施していた割合は22.3%
- ・ 従業員数が少ないほど「実施する予定はない」割合は高く、現在実施している割合、新型コロナウイルス感染症流行時には実施していた割合とも、従業員数が多いほど高い

4 まとめ

- ・ 令和3年、**名古屋市の人口は25年ぶりにマイナス**となり、自然減が過去最大となったこと、令和2年以降社会増が大きく縮小したことが影響している。
- ・ コロナ禍においては、日本国政府の水際対策の影響を大きく受けた**国外からの転入者数の減少**が、**名古屋市の人口動態に大きく影響**している。
- ・ 名古屋市の人口の社会増は、**国外及び中部圏（愛知県内他市町村を含む）の他地域**からの転入超過による。
- ・ **テレワークは、従業員数が少ないほど実施率が低い傾向**にある。

水際対策の緩和

多様で柔軟な働き方への転換

産業競争力を生かして成長を続けるまちへ

○中小企業における人材確保の支援

- 外国人材雇用支援事業
 - ・ 専門家派遣
 - ・ 就職マッチング交流会

➢ 人材マネジメント支援事業

- ・ 多様で柔軟な働き方導入支援（テレワーク・短時間勤務 など）

若い世代の希望がかなうまちへ

○安心して子どもを生み育てることができる環境づくり